



宮園政春さん(63歳)と弘子さん(60歳)。家から車で10分ほどの立待岬(たちまちみさき)で愛車をバックに。

キャンピング
カーライフの
楽しみ方 case ①

キャブコン2



↑ 運転席の上にあるバンクヘッド。荷物の収納として便利に使える。



↑ 無垢材を使った内装は温かい雰囲気だ。ダイネットのL字型シート。



↑ 火を使うときは片側バタフライのテーブルを出す。



↑ 後部の常設セミダブルベッドは大人2人が余裕で就寝できる。流し台の下には冷蔵庫がある。



↑ 大型カーゴスペースには、荷物がたっぷり入れられる。

マッシュtype-X

本体価格 455万2000円～

●ベース車両：マツダ ボンゴ●ナンバー：8ナンバー●サイズ：長さ4870mm×幅2000mm×高さ2700mm●乗車定員：5人●就寝定員：大人3人+子ども1人●排気量：1800cc●駆動方式：FR●ミッション：4AT

サードシート兼L型ソファ、ダイネットテーブル、ルーフトント、常設ベッド、40ℓ冷蔵庫、清水・排水タンクなどが常設の設備。

☎ ナツRV北九州店 ☎093-293-888



↑ オプションのソーラーパネル。電力は外部電源、走行充電システムもある。

→ オプションでのポータブルトイレもつけた。



文/水野昌美 写真/亀畑清隆
キャンピングカーは移住地探しに最適だ。本誌2014年7月号で取材した宮園さん夫妻も、キャンピングカーで九州と北海道を歩き来しながら移住先を探し、昨年、北海道函館市に完全移住となった。宮園さんの移住地探しと函館での暮らしの様子をうかがった。

キャンピングカーで全国をめぐる、 見つけた移住の地

キャンピングカーで 海辺のランチを楽しむ

本誌2014年7月号で紹介した宮園さん夫妻。鹿児島県鹿屋市に住み、夏が近づく2週間かけて北海道へキャンピングカーで移動し、道内で長期滞在をしたのち、秋になると鹿児島へ南下する暮らしをしていた。あれから3年、17年9月に北海道函館市へ完全移住した。

「全国あちこちを巡ってお試し暮らしをした結果、やはり函館がいいとなりました(笑)」

決め手は、北海道でも比較的温暖で暮らしやすいこと、交通の便がいいこと、お気に入りのプールがあることだったという。「2人の趣味がスイミングなんです。私たちが気に入ったプールの新潟県長岡市と北海道函館市にあったんです。函館は以前の勤務地で土地勘があること



↑2階の窓から見える風景は、宮園さん夫妻のお気に入り。双眼鏡で行き来する船を眺めたりしている。



↑屋外駐車場に止めてあるキャンピングカー。函館へ来て、ほかに薪などの荷物運び用に、函館に来て軽トラックを購入した。



↑2階から続く芝生が植えられた庭。裏の山は函館山へと続く。



↑函館の家から見える函館の市街地と住吉漁港。「夜もきれいですよ。函館山の中腹なので50万ドルくらいですかね(笑)」と政春さん。



↑約1300万円で購入した家。函館山のふもとに建つ3LDK。暖炉やサンルーム、ガレージ付きの2階建てだ。

宮園さん夫妻の移住までの道のり



2004年

キャンピングカーを購入
このとき購入したのは1台目。退職後を見据えて購入

2005年

政春さんが早期退職

2006年

鹿児島県鹿屋市へ千葉県からUターン
住まいは休日を過ごす別荘として30年前に政春さんがセルフビルドした家

2006年～2017年

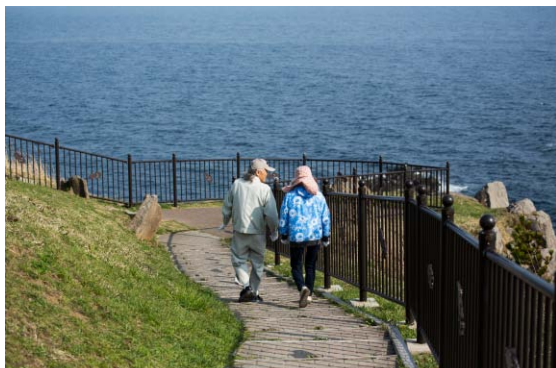
キャンピングカーで鹿児島と北海道を行き来する

2014年

現在のキャンピングカーに買い替え

2017年

北海道函館市で家を購入して移住



↑函館山の南端に突き出た立待岬は、本州側の下北・津軽半島を望む絶景スポット。岬の途中には石川啄木の墓もある。



↑政春さんがセルフビルドした作業小屋。屋根の波板タン以外は、ほとんどがもらってきたものでつくった。



↑暖炉は熱効率がよくないため、手前に薪ストーブを設置し、排気ダクトを暖炉に通している。これも政春さんが工夫した。

も決め手になりました」と政春さん。
ネットで市内の物件を探したところ、函館山のふもとに建ち、海を一望できる家を見つけた。「市電の駅まで徒歩5分、空港までタクシーで20分と、とても便利。半分田舎で半分都会という立地が気に入っています」
移住後は、朝食前に散歩し、

セルフビルドなどの作業を楽しみ、午後はスイミングと、毎日充実した暮らしを送っている。「山で花や樹々を眺めたり、山菜採りしたり、海で流木を拾ったり。ここは海も山も楽しめます」。

以前ほどキャンピングカーで遠出をしなくなったが、天気がいいと近くの立待岬へ行きキャンプングカー内でランチしたりしているという。「キャンピングカーは『動く別荘』。これで移動すれば、停めた場所がすぐにリビングや寝室になるのがいいですね。暖かくなったら、道内をあちこち巡る予定です」

さらに宮園さん夫妻は、今度は冬に過ごせる場所も探したいと話す。「鹿児島土地の家は売却したので、別の暖かい土地でアパートを借りるのもいいかなと。いま暮らしても充実していますが、キャンピングカーで移住地を探して2人であちこち巡るのもまた楽しいですね(笑)」